

中野方小学校みどりの少年団が 全国緑の少年団活動発表大会で発表しました！

10月9日、札幌市の北海道大学で開催された「全国緑の少年団活動発表大会」において、「みどりの奨励賞」に選ばれた恵那市立「中野方小学校みどりの少年団」の山崎絆利(やまざきばんり)さん、柘植暁登(つげあきと)さんが活動発表を行いました。新型コロナウイルスの影響で参加が危ぶまれましたが、無事発表することができました。

「中野方小学校みどりの少年団」は、平成28年に結成し、5、6年生がみどりの少年団員となり、坂折棚田や広大な森林などの豊かな自然を背景に、棚田での米作り、森の健康診断や木の駅プロジェクトなどの森林・林業体験に加え、バイオリン演奏にも取り組み、地域の人達の協力を得ながら多様な活動を行っています。

今回は、「学びたい、先人の思い！ 守り続けたい、中野方の自然！」をテーマに1年間の活動の様子を元気よく発表しました。地域の人達が長い間守ってきた中野方の農・林業や自然を団員みんなで学習・体験し、ふるさとを誇りに思い、自分たちにできることを見つけ、次に繋げようとする姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

翌10日の第44回全国育樹祭式典行事の「緑の贈呈」では、北海道の野幌小学校愛林少年団から「木育の玉手箱」が贈られました。

「中野方小学校みどりの少年団」の皆様が緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されることを願っています。



活動発表の様子



表彰(中央が中野方小学校)



中野方小学校みどりの少年団
(後藤校長 柘植くん 山崎くん)



全国育樹祭での緑の贈呈(木育の玉手箱)
中野方小学校(左) 額田中学校(右)